

平成二十九年一月臨時会

平成 29 年 第 1 回

菊陽町議会 1 月臨時会会議録

平成 29 年 1 月 18 日

菊陽町議会会議録

熊本県菊陽町議会

第1回菊陽町議会1月臨時会会議録

平成29年1月18日（水）開会

菊 陽 町 議 会

1. 議 事 日 程

(平成29年第1回菊陽町議会1月臨時会)

平成29年1月18日

午 前 10 時 開 議

於 議 場

日程第1 会議録署名議員の指名について

日程第2 会期の決定について

日程第3 諸般の報告

日程第4 町長提出議案第1号を議題

日程第5 町長の提案理由の説明

日程第6 議案第1号 平成28年度菊陽町一般会計補正予算(第8号)について

2. 出席議員は次のとおりである。

1番 大久保 輝 君

3番 西本 友春 君

4番 那須 眞理子 君

5番 佐々木 理美子 君

6番 中岡 敏博 君

7番 吉本 孝寿 君

8番 吉山 哲也 君

9番 北山 正樹 君

10番 坂本 秀則 君

11番 石原 武義 君

12番 岩下 和高 君

13番 大塚 昇 君

14番 川俣 鐵也 君

15番 上田 茂政 君

16番 小林 久美子 君

17番 甲斐 榮治 君

3. 欠席議員

2番 阪本 俊浩 君

18番 渡邊 裕之 君

4. 職務のため会議に出席した事務局職員の職氏名

議会事務局長 堀 行徳 君

書記 山川 眞喜子 君

書記 益満 基 君

5. 地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

町 長 後藤 三雄 君

副 町 長 井手 義隆 君

教 育 長 赤峰 洋次 君

教 育 次 長 徳淵 盛也 君

総 務 部 長 吉野 邦宏 君

福祉生活部長 佐藤 清孝 君

産業建設部長兼
商工振興課長

松本 洋昭 君

会計管理者兼
会計課長

山崎 謙三 君

総務部審議員兼
総務課長

吉川 義則 君

総合政策課長

阪本 浩徳 君

財 政 課 長 東 桂一郎 君

税 務 課 長 酒井 章彦 君

人権教育・啓発課長

高木 定伸 君

福祉生活部審議員兼
子育て支援課長

宮本 義雄 君

健康・保険課長

阪本 章三 君

介護保険課長

市原 憲吾 君

町民課長
産業建設部審議員兼
農政課長
産業建設部審議員兼
都市計画課長
総務課長補佐兼
総務法制係長兼
生涯学習課長兼
中央公民館長
農業委員会事務局長

宮川照之君
志垣敏夫君
大山陽祐君
中島秀樹君
古賀直之君
川上一弘君

西部支所長
建設課長
産業建設部審議員兼
環境生活課長兼
下水道課長
学務課長
図書館長

服部誠也君
小野秀幸君
今村敬士君
士野公典君
矢野信哉君

~~~~~ ○ ~~~~~

開会 午前10時0分

○副議長（甲斐榮治君） おはようございます。

副議長の甲斐です。本日は、議長が病気のために地方自治法第106条第1項の規定により議長の職務を務めさせていただきます。

また、阪本俊浩議員からも欠席の届けがっておりますので、御報告します。

ただいまから平成29年第1回菊陽町議会臨時会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 会議録署名議員の指名について

○副議長（甲斐榮治君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、10番坂本秀則君、11番石原武義君を指名します。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第2 会期の決定について

○副議長（甲斐榮治君） 日程第2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は本日1日間としたいと思います。御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○副議長（甲斐榮治君） 異議なしと認めます。したがって、本臨時会の会期は本日1日間とすることに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 諸般の報告

○副議長（甲斐榮治君） 日程第3、諸般の報告を行います。

本会議に出席を求めた説明員の職氏名は、議席に配付のとおりです。

これで諸般の報告を終わります。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4 町長提出議案第1号を議題

○副議長（甲斐榮治君） 日程第4、町長提出議案第1号を議題とします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 町長の提案理由の説明

○副議長（甲斐榮治君） 日程第5、ただいま議題としました議案に対する町長の提案理由の説明を求めます。

後藤町長。

○町長（後藤三雄君） おはようございます。

まず、初めに先日1月15日に開催しました消防出初め式につきましては、議員各位におかれましては大変寒い日でありましたにもかかわらず御出席をいただきまして、ありがとうございました。今年の出初め式でありますけども、本当に例年にない寒さの中での出初め式ということでありましたけども、無事に終えたところであります。厚くお礼を申し上げます。

それでは、平成29年第1回菊陽町議会臨時会の付議事件について提案理由を申し上げます。

議案第1号は、平成28年度菊陽町一般会計補正予算（第8号）についてであります。

昨年、12月の定例会で補正予算について可決をいただきましたが、このたび急を要する予算が必要になりましたので、緊急に補正をお願いするものであります。

主なものの一つは、平成28年熊本地震に伴う一部損壊世帯に対する町独自の義援金関係予算についてであります。一部損壊世帯へ県の義援金配分が決定されたことに伴い、町も独自の義援金を一部損壊世帯に交付するものであります。

2つ目は、熊本県復興基金の活用に関する予算についてであります。これは、県の復興基金設置条例が昨年12月に決まりましたことに伴い、第一次配分に関する予算を計上するものであります。

なお、この復興基金の活用については、1月16日の月曜日から校区単位で復興座談会を開催しており、ワークショップ形式によりそれぞれの地区ごとに震災に起因する対応で困っておられることをお伺いし、今後の復興に漏れることのないように進めるため行っているところであります。

補正予算の内容につきましては、歳入歳出予算の総額に9,664万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を177億7,978万9,000円と定めるものであります。

歳入の主なものは、県支出金を2,930万6,000円、寄附金を1,970万円、繰入金金を3,000万円増額するものであります。

一方、歳出の主なものは、民生費を7,666万8,000円、農林水産業費を2,095万5,000円増額するものであります。

以上、議案の要旨のみについて申し上げましたが、詳細につきましては議案審議の際に御説明いたしますので、御承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○副議長（甲斐榮治君） 提案理由の説明を終わります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 議案第1号 平成28年度菊陽町一般会計補正予算（第8号）について

○副議長（甲斐榮治君） 日程第6、議案第1号平成28年度菊陽町一般会計補正予算（第8号）についてを議題とします。

財政課長、説明を求めます。

○財政課長（東 桂一郎君） おはようございます。

議案第1号平成28年度菊陽町一般会計補正予算（第8号）について御説明申し上げます。

町長の提案理由にありましたように、平成28年熊本地震に伴う一部損壊世帯に対する町独自

の義援金関係予算や熊本地震復興基金の事業など、急を要する予算が必要となりましたので、補正をお願いするものであります。

内容につきましては主なものについて御説明申し上げ、詳細につきましては御質問に応じ、担当課長等がお答えしますので、よろしくお願いたします。

まず、1枚めくっていただき、1ページをお開きください。

歳入歳出予算の補正は、第1条で歳入歳出予算の総額に9,664万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を177億7,978万9,000円と定めるものであります。

次の2ページ、3ページは第1表の歳入歳出予算補正ですが、内容は5ページ以降の補正予算に関する説明書の中で説明いたします。

6ページをお開きください。歳入歳出補正予算事項別明細書です。

まず、1、総括の歳入です。

款の17県支出金を2,930万6,000円増額、款の19寄附金を1,970万円増額、款の20繰入金金を3,000万円増額、款の22諸収入を1,764万円増額しております。

以上、歳入合計は補正額として9,664万6,000円の増額となり、総額は177億7,978万9,000円となります。

7ページを御覧ください。歳出になります。

款の2総務費を232万4,000円増額、款の3民生費を7,666万8,000円増額、款の6農林水産業費を2,095万5,000円増額、款の11災害復旧費を227万3,000円増額、款の14予備費を557万4,000円減額しています。

以上、歳出合計も補正額として9,664万6,000円の増額となり、総額は177億7,978万9,000円となります。

なお、財源の内訳は記載のとおりでございます。

8ページをお開きください。

次は、2の歳入です。

款の17県支出金、項の1県負担金、目の1民生費県負担金は、熊本地震関連死による災害弔慰金負担金を562万5,000円計上しております。

項の2県補助金、目の4農林水産業費県補助金は、担い手確保・経営強化支援事業補助金を2,095万5,000円計上しています。

目の9災害復旧費県補助金は、平成28年熊本地震復興基金交付金の第一次配分事業分を272万6,000円計上しております。

款の19寄附金、項の1寄附金、目の1一般寄附金は、本町への震災寄附金の701万円と次の9ページを御覧いただき、同じく本町へのふるさと寄附金の1,269万円を計上しております。

款の20繰入金は、財政調整基金繰入金を3,000万円増額し、財政調整基金繰入金の計を7億2,000万円としております。

款の22諸収入、項の5雑入、目の4雑入は、本町への災害見舞金を1,764万円計上しており

ます。

10ページをお開きください。

次は、3の歳出です。

款の2総務費、項の1総務管理費、目の10地域政策費は、復興まちづくり計画策定などの都市防災総合推進事業の事務費を232万4,000円計上しております。この中で節区分9旅費に、防災公園や防災庁舎の先進地研修旅費と大阪府豊中市との災害時相互応援協定の旅費を計上しております。

11ページを御覧ください。

款の3民生費、項の1社会福祉費、目の1社会福祉総務費は、熊本地震による義援金の配分に係る事業費を計上しております。このうち節区分19負担金、補助及び交付金は、熊本地震義援金配分委員会補助金を6,680万円計上しております。これは、熊本地震で一部損壊の住宅被害を受けた世帯への町独自の義援金支給に対する補助金であり、財源には本町への寄附金や災害見舞金を活用しております。次の節区分20扶助費は、熊本地震関連死による災害弔慰金を750万円計上しております。

12ページをお開きください。

項の2児童福祉費、目の1児童福祉総務費は、節区分の19負担金、補助及び交付金で熊本地震復興基金の第一次配分事業であります認可外保育施設利用者支援事業補助金を27万円、放課後児童クラブ利用者支援事業補助金を54万円計上しております。これは、半壊以上の住宅被災世帯に対する保育料、利用料の補助になります。

13ページを御覧ください。

款の6農林水産業費、項の1農業費、目の3農業振興費は、節区分の19負担金、補助及び交付金で担い手確保・経営強化支援事業補助金を2,095万5,000円計上しております。これは、国の補正予算事業で融資を活用して農業用機械や施設を導入する際に、融資の残について事業費の2分の1以内を補助するもので、財源は全額県補助になります。

14ページをお開きください。

款の11災害復旧費、項の1農林水産業施設災害復旧費は、被災農業者向け経営体育成支援事業の事務費を35万7,000円計上しております。

項の5その他公共施設・公用施設災害復旧費は、熊本地震復興基金の第一次配分事業である自治公民館再建支援事業補助金182万円と消防団詰所等再建支援事業補助金を9万6,000円計上しております。これは、被災した地区公民館や消防団詰所に対する修繕費用の補助になります。

15ページを御覧ください。

款の14予備費は、調整のため557万4,000円減額し、計を1億293万7,000円としております。

以上で説明を終わります。よろしくお願ひいたします。

○副議長（甲斐榮治君） 説明を終わります。



これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

小林久美子君。

○16番（小林久美子君） 議案第1号で今説明を受けましたけれども、町独自の熊本地震への一部損壊世帯への義援金の交付というのがこの補正の中にも含まれてまして、私も昨年9月と12月議会、周りの市町村は一部損壊世帯への支援があるので何とかできないかということで求めてきまして、至急義援金を交付するという提案をしていただいてうれしく思ってるんですが、その中で2点ほど質問をします。

1つは、今回菊陽町の場合は6,600万円でしたか、6,800万円ぐらいなんですけれども、この前説明を受けたときは近隣の町村と比較しても余り遜色のない内容にしたいということだったんですけれども、例えばお隣の大津町は100万円以下の修理がかかった場合、一部損壊の場合は10%ということで、菊陽町の場合と少しやっぱり違うかなというふうに思うんですけれども、菊陽町の場合は、例えば30から50万円だったら3万円の見舞金というふうに理解しているんですが、その辺では遜色ないよということなんですけど、少し違うのではないかと質問が一つと。

あともう一つの質問は、今回町の財源から3,000万円追加をしたということで、この前課長さんの方にも確認して財政調整基金がこの災害関連でどれだけ使われたのかと、その3,000万円も追加すると7億2,000万円ほど災害関連で今まで貯金をためてた、基金をためていたものをこの間使ってきたということなんですけれども、財政調整基金が今約20億円ある中で、財政調整基金は今までもずっと行政とのやりとりの中で、やっぱり住民の暮らしが厳しいときに使うべきではないですかということをやとりしてきたんですけれども、災害とかインフルエンザとかいろいろそういうのが多発したときということだったので、こういうときにこの財政調整基金を使って手当てをするというのが大事だというふうに思うんですが、その辺での考えをお願いしたいというのと。

もう一つ質問の中では、これは一部損壊とは違うんですけど、先ほど災害協定が大阪豊中ということだったんですけれども、私はちょっと今初めて聞きましたので、なぜ大阪の豊中なのかちょっと分からないので、その3点について、まずお尋ねをします。

○副議長（甲斐榮治君） 福祉生活部長。

○福祉生活部長（佐藤清孝君） それでは、義援金の中で大津町が30万円から100万円に対して1割、菊陽町の場合は30万円から50万円が3万円、それから50万円から100万円に対して5万円ということで区分分けをしているとの違いについてなんですけど、理由としては2つあります。

そういう工事費の1割というやり方をしているのは大津でございます。あとの町村につきましては、一律に幾らという考え方をしております。

それともう一つは、今回町の義援金が、この前も御説明しましたが、非常に少のうございます。それで、一般会計からお金をいただいて支給するわけですので、やはり10%ということに

なると非常に不確定な金額になります。そうする場合に、予算化する場合に見通しが非常につけないということ、この今回の補正をお願いする場合にも不確定な数字になりますので、そういう2点のことから一律にという考え方をしたわけでございます。

以上でございます。

○副議長（甲斐榮治君） 財政課長。

○財政課長（東 桂一郎君） 私の方から財政調整基金について御説明申し上げます。

予算書の9ページを御覧ください。

財政調整基金につきましては、本年度につきましては20の繰入金の目の1の財政調整基金繰入金ということで、合計で7億2,000万円取り崩すところで予定をしております。平成27年度末では、財政調整基金については約24億円持っております。今回の補正で7億2,000万円取り崩すんですけども、27年度からの繰越金の2分の1で3億1,000万円積み立てるというところで予算立てをしておりますので、28年度末の残高見込みにつきましては約20億円という財政調整基金の残高になるということになっております。

町の考え方としましては、標準財政規模という指標がございますけども、標準財政規模は菊陽町の場合約80億円程度となっております。その80億円に対して約20%は財政機能調整を有する基金、財政調整基金と減債基金を足し合わせたものですが、そちら20%以上確保したいという考えを持っておりまして、80億円の20%になりますと16億円以上は確保したいというところで、現在のところ28年度末でも16億円以上の、財政調整基金だけでも20億円は持っているというところで確保はできているというところで考えております。

以上でございます。

○副議長（甲斐榮治君） 後藤町長。

○町長（後藤三雄君） 財政調整基金のことについて少し補足しておきます。

今、財政課長が申し上げましたけども、今回特に大津町との違いと言われますけども、一部損壊の件数におきましても本町では4,428件、大津は3,244件ということで、一部損壊の件数については本町の方がはるかに多いところで、1,200件ぐらいは多いかというところ、それと、大津町の方では、大津町の独自の災害義援金が4,000万円近くはきてると聞いておるところであります。そういった中で、財政調整基金を今回3,000万円ほど繰り入れております、一部損壊のところでは財源が不足するというところ、そういうようなところではありますけども、標準財政規模から見ると16億円ぐらいと言いますが、今新年度、29年度の予算編成をこれから査定の方に入っていきますけども、一般財源ベースで約16億円ぐらい不足しておるわけです。だから、今の財政調整基金というのもうまく使わんといかんのですけども、非常に不足が出るような状況にあるということでもあります。

それと、既に12月まででこの災害対策債の関係がこれも17億円ぐらい起こしておりますけども、国の支援の方が中身を見ていきますと、特別交付税で措置される予定だったものが普通交付税の需要額に変わっておると、そういうものもあるということで、非常にこの財政運営

については慎重にやっついていかないと将来に大きな負担を残すのではないかとということで、そういうものも踏まえた上での対応をしていくということにしております。

以上です。

○副議長（甲斐榮治君） 総務課長。

○総務部審議員兼総務課長（吉川義則君） 最後の質問である豊中市とはなぜかというようなお話だったかと思しますので、それに対してお答えしたいと思います。

この災害協定につきましては、12月議会的那須議員のときにもちょっとお答えしてたかと思えますけれども、現在本町におきましては、災害協定については熊本県の市長会、それと熊本県の町村会と災害協定を結んでおります。熊本地震時におきましては、この熊本県内の自治体どこも被災しておりまして、その関係で被害が少なかった熊本県南の地域から応援をいただいております。相良村とか球磨村、多良木町とかそういう県南の地域、それと合わせまして関西広域連合から奈良県の市長会、町村会から応援をいただいております。それと、九州内では福岡県の市長会、町村会から多くの職員の派遣をいただいております。

こういった関係で、熊本地震時におきましては道路の寸断による交通網の乱れが発生しておりまして、複数の交通手段による支援の重要性を強く認識したところでございます。幸いにも本町におきましては熊本空港が立地しておりまして、そういう強みを生かして就航路線でつながった空港の所在都市との協定締結、連携を考えておりました。その中で、大阪府の豊中市からはいち早く支援物資の調達等をいただいております。以前から考えておったんですけども、ちょうど災害協定等の締結を考えておって、熊本地震においてもそういう応援等をいただいておりますので、今回それを踏まえてそういう路線でつながった都市との災害協定ということで、今回大阪府の豊中市さんと協定締結をとということで考えた次第でございます。

以上です。

○副議長（甲斐榮治君） ほかに質疑ありませんか。

小林久美子君。

○16番（小林久美子君） すいません、町長答弁いただいたんですけど、ちょっとよく聞き取れないところがありまして、結局、来年度の予算をいろいろ査定するときに16億円予算が不足するというところだったのでしょうか。そこをちょっとお願いしたいと思います。

○副議長（甲斐榮治君） 後藤町長。

○町長（後藤三雄君） 今、まだこれから査定、相当厳しくやっついていかなければ入らないと思うのが、その一般財源ベースで16億円不足ですので、これをどうするかというのは非常にいろいろ要求は出ておりますけども、かなり厳しく査定をしないと予算がはまらないということであります。

そういうときの調整のために財政調整基金を投入するわけでありまして、それが今年度で既に7億円ぐらい取り崩すところでしてございますので、そういった面から非常に収入支出の関係につきましては厳しく見ていかないと、この不足分を地総債の方に頼ってしまうというこ

とになりますと、将来にまたその負担が返済ということが出てくるということでもありますので、そういう意味からこの財政調整基金、非常に財源不足のときに調整役を持っておりまして、その運用については慎重にやっていきたいというふうに考えてるところであります。

○副議長（甲斐榮治君） 小林久美子君。

○16番（小林久美子君） 3回目だと思うんですけども、16億円一般財源ベースで足りないということですが、その中で地震に影響するものが大体、おおよそでいいですので、どの割合ぐらいあるのかというのをちょっと教えていただきたいと思います。

今日の熊日でも国の特別措置法のことを社説の方に載ってましたけれども、やはり地震の関係で言えば、国の特別措置法がないと自治体の負担が今も地震によって増えているし、今後も自治体への負担が大きくなるのしかかってくるというところはあるのかなというふうに思いますので、それは言うまでもなく、国が特別措置法をつくってほしいと私たちも思っているんですけども、来年度の予算の中で地震の関係がどの程度あるのか、補正の絡みもありますので、その点を教えてください。

○副議長（甲斐榮治君） 小林議員に申し上げます。

これは3月の予算の件ですので、そのときにまた質問をしていただきたいと思います。

ようございますか。

（16番小林久美子君「でも、震災と関係があるのですが」の声あり）

（「いやいや今質疑だから、この提案されたことについて疑問があれば質問すればいいんです。それ以外は関係ありません」の声あり）

予算のときにまた機会がございますので、そのときにしていただきたいと思います。

ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○副議長（甲斐榮治君） ほかに質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

小林久美子君。

○16番（小林久美子君） 議案第1号補正予算に賛成の討論を行います。

先ほどから質疑を行いましたように、一部損壊世帯への義援金、これは私は他町村よりもちょっと遅れて、そのことは残念ですが、財源が厳しい中、支給を決定していただいたということに非常に町民の方も喜ばれるのではないかというふうに思っています。ただ、やはり一部損壊でもかなり工事費とかにかかるところもありますので、財源の問題もありますが、他市町村との状況やそういうのをまた見ていただいて、今後国の特別措置法などを求めながら、やはりもっと町民の方に支援ができるように望んで、賛成討論とします。

以上です。

○副議長（甲斐榮治君） ほかに討論ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○副議長（甲斐榮治君） ほかに討論なしと認めます。

これから採決を行います。

議案第1号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○副議長（甲斐榮治君） 全員賛成です。したがって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

以上で本日の日程は全部終了しました。

これで平成29年第1回菊陽町議会臨時会を閉会します。

御苦労さまでした。

~~~~~ ○ ~~~~~

閉会 午前10時31分

上記会議次第は事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためここに署名します。

平成 年 月 日

菊陽町議会副議長 甲斐 榮 治

菊陽町議会議員 坂 本 秀 則

菊陽町議会議員 石 原 武 義

菊陽町議会会議録
平成29年第1回1月臨時会

平成29年1月発行

発行人 菊陽町議会議長 渡邊 裕之

編集人 菊陽町議会事務局長 堀 行徳

印刷 株式会社 きょうせい九州支社

電話 (092) 831-0700 (代表)

~~~~~  
菊陽町議会事務局

〒869-1192 熊本県菊池郡菊陽町大字久保田2800

電話 (代) (096) 232-2111

議会事務局TEL (096) 232-4919